





文：ヴァイダ・トゥモサイテ

訳：三浦和紗

編集：高木伽耶子

デザイン：ユディタ・ジジューニエネ

写真：ヨナス・ペトロニス、ギンタレ・シンケヴィチューテ、ユディタ・ジジューニエネ、学生クラブ

VMUアジア研究センター

V. Putvinskio st. 23-417/418,

Kaunas LT-44243 Lithuania

Tel: +370 37 331323

HP: [asc.vdu.lt](http://asc.vdu.lt)

© VMU Centre for Asian Studies, 2019



## ご挨拶

### リトアニア、カウナス ヴィータウタス・マグヌス大学 アジア研究センターへようこそ！

リトアニア独立回復後に設立されたVMUにあるアジア研究センターは、若い研究者と事務スタッフから成る小さなチームで、まだ歴史は浅く、できることも限られています。しかしながら、私たちは自分たちがコツコツと積み重ねた努力と進歩に誇りを持っています。20年間の発展の中で、素晴らしい研究プログラムを開講し、新しく重要なリソースを生み出し、東アジアにある多くの大学と提携を結びました。その結果、カウナスでの生活に欠かせない存在の一つとなりました。

センターの主たる目的は、現代のアジアにおける政治、経済、社会、文化の動向に主眼を置き、人文学的・社会学的観点からアジアを可視化することです。中でも東アジア地域に特に注目しています。

センターは次の5つを課題として掲げ、活動を行っています。

- ・ 国外の教育機関との協力体制の下、東アジア研究という分野を探求し、その成果としての学術的知識をアカデミックイベントの開催や出版物により、広く知らしめる。
- ・ 教育的・文化的イベントを通じ、リトアニアの市民に対し東アジア文化に関する理解を促進する。
- ・ 大学プログラム及び公開講義を通じ、大学生へ東アジアの文化、言語、社会、政治、経済について教授する。
- ・ 図書館内のアジア研究関連資料の充実とその資金の獲得に努める。
- ・ 東アジア・欧州間の国際的ネットワークを保持・発展させる。

アジア研究センター所長（2008～2019）  
オウレリユス・ジーカス



## 沿革



1993～95年 VMUで初めてのアジアからの教員、小島亮准教授による日本語及び日本の歴史・文化・社会に関する授業の開講。

1996年 アルヴィーダス・アリシャウスカス講師による日本語教育が始まる。

2001年 日本研究センターが正式に設立。センターは、1940年当時の領事代理だった杉原千畝がユダヤ難民のためにビザを発給した旧日本領事館の建物（ヴァイジュガンタス通り30番）へ移設。センターの主たる活動は日本語及び日本文化の教育。

2006～2016年 世界の様々な地域に着目した学術誌“International Journal of Area Studies”（2013年までの名称は”Regioninės studijos “）がDe Gruyterより出版される。

2007年2月 入門韓国語クラスの開講。

2007年9月 政治外交学部地域研究学科協力の下、修士プログラム「東アジア地域研究（政治学）」が新設される。

2007年9月 中国語の継続クラスの開講。

2007年11月 年次国際教育協議会が組織され、これ以降、東アジアの様々な基金・財団から援助を受ける。

2008年1月 オウレリウス・ジーカス博士がセンター長に任命される。



2008年11月 杉原千畝図書室 (Chiune Sugihara Reading Room) がVMU図書館の一部としてセンター内に設置される。

2008～2009年 日本文化・韓国文化のサマースクールの開講。

2009年11月 日本研究センターはアジア研究センターへ改名。政治外交学部の一部となる。

2012年9月 学士プログラム「東アジア文化・言語」が新設される。

2013年3月 駐ラトビア台北代表処協力の下、台湾センター設立。

2014年10月 VMUアジアウィーク開催。以降センターが主催する最大の年中行事となる。

2015年以降 研究開発のみならず、外務省、日本大使館、中国大使館との応用研究にも従事する。

2016年9月 アジア研究センターは人文学部の一部となり、新たに建設されたVMU多目的館（カウナス市プトヴィンスキス通り23番419/420号室）へ移転する。

2016年9月 杉原千畝図書室 (Chiune Sugihara Reading Room) はVMUの図書館本館へ移り、「アジアブックスペース (ABS)」として専用の書架が設置される。

2017年3月 東京外国語大学との協定により、Global Japan Office (GJO) が設置される。

2018年10月 韓国政府により、カウナス世宗学堂が設立される。



## 研究

2004年に始まったアジア研究センターの研究活動は当初、主に日本に関するものでした。2008年からは、韓国、中国に関する研究が徐々に始まり、センターの研究領域は広がりを見せました。センターでは主に、東アジアの文化的・政治的プロセスに関する研究を行っています。



アジア研究センターは、数多くの研究プロジェクトや、研究を目的とした国際ネットワークを築き、研究成果の発表の場としてカンファレンスやシンポジウムを開催してきました。私たちは、東芝国際交流財団、国際交流基金、サントリー文化財団、台北ミッションなどの団体から支援を受けています。

2007年からセンターは国際的な学会やシンポジウムを主催するようになりました。2018年までに、12回の国際的な学会・シンポジウムをVMU小ホールで開催し、世界中から研究者らが参加しました。2018年には、第48回日本専門家欧州協会年次大会「グローバル化する日本研究資料」を主催しました。

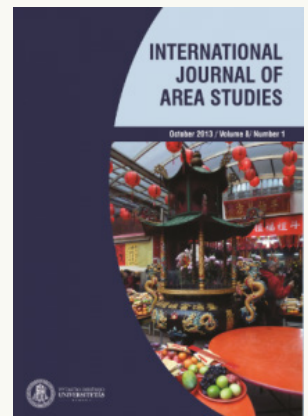
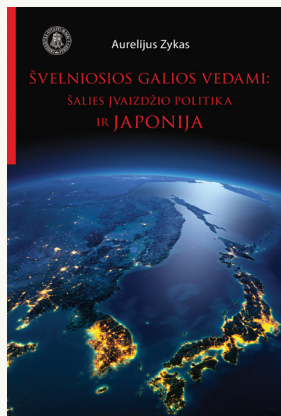
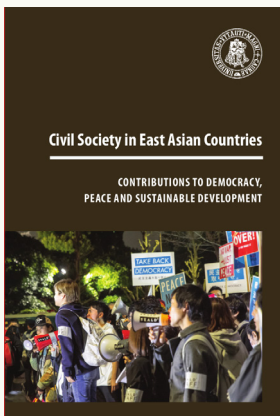
さらに、研究活動に関するものや政治・文化など幅広い題材を扱う刊行物の出版も定期的に行ってきました。2018年までに出版・刊行されたものは次の通りです。

- ・ リナス・ディドヴァリス（編）（2018）『東アジアの市民社会：民主化、平和、そして安定的発展への貢献』
- ・ オウレリウス・ジーカス（2017）『ソフトパワーによる牽引：日本と国のイメージとのコミュニケーション』
- ・ オウレリウス・ジーカス（編）（2012）『リトアニアにおける東アジア研究』
- ・ 高馬京子（編）（2011）『ヨーロッパにおける日本・韓国のポピュラーカルチャーの受容』
- ・ 高馬京子（2011）『ヨーロッパのメディアにおける日本の表象、分析方法と理論—韓国のケースとの比較』
- ・ 高馬京子（2009）『日仏における日本人デザイナーの表象—日仏の新聞言説分析を通じて—』
- ・ 高馬京子（編）（2008）『ヨーロッパにおける日本のイメージ』

アジア研究センターはこの研究が社会に広く浸透していくことを目的としており、時折従来の方法から離れ、より理解しやすく、人々の目を引くようなものを生み出すこともあります。この観点から発展して作られたリソースの一つに、ドキュメンタリー映画があります。2018年、アジア研究センターは長年の研究成果を活かし、ドキュメンタリー映画『カウナス スギハラを、日本を想う』を公開しました。この映画では、第二次世界大戦以前に両国の架け橋となった4名の人物の視点から、カウナスと日本の結びつきの歴史が描かれています。オウレリウス・ジーカス博士、リナス・ディドヴァリス博士、クリスティヨナス・ヤクブソナスが制作を手がけました。リトアニアと日本で行われた上映会には20名もの研究者や政治家が参加しました。

この映画は、東芝国際交流財団、Global Japan Office、ProConf、カウナス市から協賛・後援を受けました。

詳細: [facebook.com/KaunasJaponija](https://facebook.com/KaunasJaponija)





## インターネット資料

新しいリソースを生み出したことは、センターの誇るべき成果の一つです。21世紀、私たちの活動の中で電子リソースはより一層重要なものとなっていくに違いありません。私たちは、電子リソースをうまく活用できた経験から、デジタル化、グローバルアクセス、電子出版物、及び現地のニーズや環境に合わせたそれらの取り入れ方などについて、活発に議論し解決していくべきだと考えています。

### Asianstudies.lt

「Azijos studijos Lietuvoje(リトアニアにおけるアジア研究)」は2012年に立ち上げられたウェブサイトで、リトアニア国内のアジア研究に関する情報を収集・蓄積している電子データベースです。このサイトではアジア研究分野で活躍するの研究者、旅行家、教育者、翻訳者らのデータを参照することができます。また、アジアに関するさまざまな書籍、図書館資料、美術コレクション、論文などからも有益な情報を得られることで

しょう。学術情報や文化イベントの最新ニュースも発信されています。ここでの活動はリトアニア国内におけるアジア研究の促進を目的としたものです。

ウェブサイト: [asianstudies.lt/en](http://asianstudies.lt/en)

Facebookページ: [facebook.com/asian-](https://facebook.com/asianstudies.lt)

[studies.lt](http://studies.lt)



### Japonuka.lba. vdu. lt

「Japonų kalba VDU (VMUの日本語)」は、2012年に開設されたウェブサイトで、よく知られている日本語能力試験（JLPT）に基づいたオンラインの日本語学習コースを無料で提供しています。初級者にぴったりの自習教材がそろえられており、基本的な文法、読み書き、聴解などを網羅しています。各課では、語彙力を高めるだけ

でなく、日本文化についても学べるようになっています。

ウェブサイト: [japonuka.lba.vdu.lt](http://japonuka.lba.vdu.lt)

Facebookページ: [facebook.com/japonuka.lba](https://facebook.com/japonuka.lba)

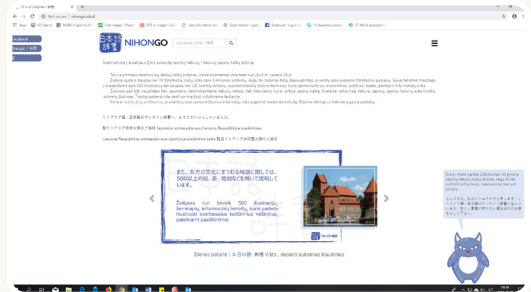


### Jishokun. It

2016年に立ち上げられた「Jishokun. It」は、包括的な日本語-リトアニア語-日本語 のオンライン辞書のウェブサイトです。7万語以上の単語が収録されており、約500点のイラストと文化・経済・政治・法律・自然などの学術分野に関する100種類以上の図表が補足資料として備わっています。この辞書はリトアニア語を学ぶ日本人と日本語を使うリトアニア人の両方に役立つものです。

ウェブサイト: [jishokun.lt](http://jishokun.lt)

Facebookページ: [facebook.com/jishokun.lt](https://facebook.com/jishokun.lt)

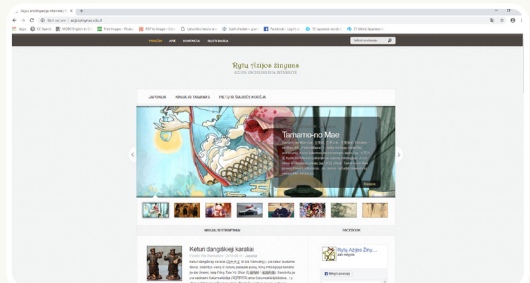


## Azijos žinynas. vdu.lt

ウェブサイト「Rytų Azijos žinynas (東アジアの用語集)」は2014年からスタートした、地域社会、文化、政治、歴史に関する情報を提供するオンライン百科事典のページです。記事は全て東アジア研究プログラムの学部生によるものです。このサイトが広く活用されリトアニアの人々の間で東アジアに対する関心が高まっていくことを、私たちは心から期待しています。

ウェブサイト: [azijoszinynas.vdu.lt](http://azijoszinynas.vdu.lt)

Facebookページ: [facebook.com/RAZ.VDU](https://facebook.com/RAZ.VDU)



## 教育

アジア研究センターは東アジア研究の専門家育成の2つのプログラムを提供しています。学生は留学で語学力や文化に関する知識を向上させることができるだけでなく、将来的なキャリアの選択に有益となるであろうインターシップに参加し、意義深い経験を得ることもできます。



### 東アジア文化・言語（学士プログラム）

学士プログラム「東アジア文化・言語」は文化研究学部とともに、2012年秋に開講されました。4年間のプログラムで、中国、日本、韓国、それぞれの歴史・宗教・芸術・民族学を中心に学びます。学生たちはそれぞれの国特有の文化を分析し、数千年続く伝統について深く研究する機会が与えられています。さらに、東アジアの言語のうち、最大二言語を選択することができ、一つは上級レベル、もう一つは日常会話レベルまで習得することができます。

このプログラムの学生には、東アジアの大学への一学期間以上の留学が推奨されています。





## 東アジア地域研究（修士プログラム）

修士プログラム「東アジア地域研究（EARS）」は地域研究学科（政治外交学部）とともに2007年に開講されました。このプログラムは、バルト諸国では初めての、東アジアの現代政治・社会分野のコースを英語で提供している唯一の修士プログラムです。東アジア（韓国、日本、中国）

の近代政治、経済、社会そして文化に焦点をあて、学生はその地域の歴史、伝統、宗教を学ぶことができます。EARSは東アジア研究に関心持つ世界中の学生にとって魅力的なプログラムです。

EARSにおいては東アジアの言語は必修ではありませんが、履修した場合には単位が与えられます。このプログラムの講義はすべて英語で行われ、論文も同様に英語で書かれます。







# アジアブックスペース

アジアブックスペース（ABS）はヴィータウタス・マグヌス大学図書館内に特別に設けられたスペースで、ヴァツロヴァス・ビルジシュカ図書室（K. ドネライティス通り52番）内にあります。ABSの主たる目的は、東アジア研究プログラム（学士・修士）の学生たちのニーズに応えること、ヴィータウタス・マグヌス大学におけるアジア研究関連の図書館資料を体系的に管理することです。

2007年にアジア研究に関するリソースを体系的に収集し始めた当時は、まだ数百冊の本があるだけでした。2008年11月に杉原記念館（ヴァイジュガンタス通り30番）に杉原千畝図書室が開かれましたが、大学の近代化に伴って、2016年の夏、杉原千畝図書室のすべての資料は、大学の中央キャンパスへ移されました。

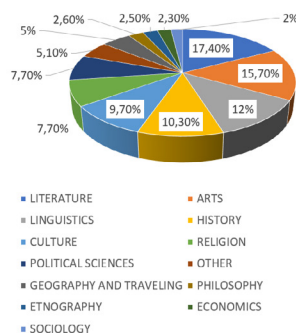
2018年時点で、アジアブックスペースには日本語、英語、中国語、ロシア語、リトアニア語、韓国語、その他の言語で書かれた9143冊（6491タイトル）の本が置かれていました。ABSは幅広い分野をカバーしており、主にアジア地域の文学、美術、言語、歴史、文化に関するものが中心です。

## 主な支援者・団体

- ・ 蔣経国国際学術交流基金会
- ・ 国際交流基金
- ・ 在リトアニア日本国大使館
- ・ 日本さくらの会
- ・ 在リトアニア中華人民共和国大使館
- ・ 韓国国際交流財団
- ・ ロマルダス・ネイマンタス
- ・ ヨルゲン・ニールセン

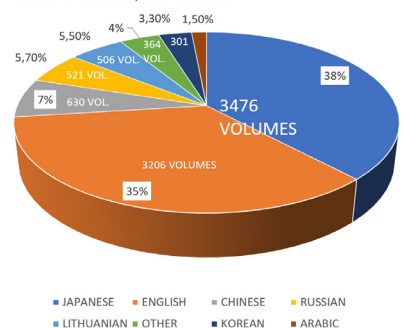


| STUDY FIELD             | VOLUMES |
|-------------------------|---------|
| LITERATURE              | 1591    |
| ARTS                    | 1438    |
| LINGUISTICS             | 1094    |
| HISTORY                 | 939     |
| CULTURE                 | 886     |
| RELIGION                | 704     |
| POLITICAL SCIENCES      | 701     |
| OTHER                   | 465     |
| GEOGRAPHY AND TRAVELING | 460     |
| PHILOSOPHY              | 236     |
| ETNOGRAPHY              | 230     |
| ECONOMICS               | 206     |
| SOCIOLOGY               | 193     |



## ASIAN BOOK SPACE IN 2018

9143 volumes, 6491 titles





## 文化

アジア文化を広めることは、アジア研究センターにとって非常に大切な活動の一つです。それを果たすべく、私たちはパートナーである大使館やリトアニアの文化機関、及び「橋」「Hallyu」「Wu Wei」などの学生団体と連携を図っています。

アジア研究センターでは、弁論大会や朗読コンテストなどの開催を通じて、東アジアの言語を学ぶ学生たちの語学力向上を促進しています。2010年3月、ヴィリニウスとクライペダの大学と協力し、カウナスで初めての日本語弁論大会が開催されました。日本語弁論大会への参加者が急増したことを受け、2014年には国内初の韓国語及び中国語の大会も開催されました。また、センターは広島大学との緊密な関係を維持しており、2018年には初めて日本語弁論大会を同大学と共同で開催しました。

2016年以降開催されているTime for Asiaは、外部から招聘した研究者やオピニオンリーダーらが、現代のアジアにおける政治、社会、経済の問題について、公開講義を行う定例イベントです。現代の中国、韓国、日本、及び世界情勢における東アジアの重要性や役割についての社会的認知を高めることが、このイベントの主なねらいです。秋学期・春学期ともに開催され、誰でも参加することができます。

また、センターは、定期的にコンサートやワークショップ、映画上映会、美術展などの様々なイベントを開催しており、その中で、墨絵、書道、グラフィックアート、写真、アジア映画など多様なアジアの文化を紹介しています。

2008年から2009年にかけて、センターは日本文化と韓国文化に特化した3つの





夏期プログラムを初めて実施しました。参加者はリトアニアや国外の専門家による講義を聞き、書道、楽焼、盆栽、茶道、剣術と剣道、サムルノリ（朝鮮の伝統的な打楽器を用いた音楽）、プチェチュム（扇の舞）、タルチュム（仮面を使った演劇）などについて学びました。

2016年からは、アジアの協定校向けのリトアニア短期フェローシッププログラムを開始しました。また、2018年には、広島大学に向けたプロジェクト「START+」も始動しました。日本から来た学生たちは英語を集中的に学習し、さらにリトアニアの様々な歴史や文化についても学びました。参加学生らは、リトアニアでのホームステイ体験により、リトアニアの歴史、文化、芸術への理解を深めました。



## リトアニアとカウナスの中のCAS

私たちは、活動を通じ、幅広い層の組織と連携し、町や国に貢献をもたらし、よりよい社会を作っているという自負を持っています。このような成果を得ることができているのは、学外の協力者と共に活動しているからです。アジア研究センターはパートナーたちと協力し、多種多様な文化イベントを開催しています。

### SoPaNet

SoPaNet(ソーシャルパートナーシップネットワーク)には、東アジアの国々に関連した企業、政府組織、非政府組織を含む、様々な文化・教育・スポーツ・研究機関があります。センターはすべてのパートナー組織と、関連情報の共有やプロジェクトへの参加、イベントの開催などの協定を結んでいます。SoPaNetの中には東アジア研究プログラムの学生をインターンとして迎え、そのまま雇用先となるパートナーもあります。

### ドラゴン・アカデミー

ドラゴン・アカデミーは東アジア研究の発展をより良い方向へ導くためのフォーマル/インフォーマル教育のネットワークで、センターと共に活動しています。アカデミーは、東アジアの言語や文化に関する知識を広めることを目指し、2017年に創設されました。主に、東アジアの文化や言語に興味を持つ小・中・高の各学校と結びついています。

詳細：[asc.vdu.lt/our-friends/dragons-academy](http://asc.vdu.lt/our-friends/dragons-academy)

### VMUアジアウィーク

VMU アジアウィークは学生サークルの「橋」「Hallyu」「Wu Wei」と共に2014年から開催されている一年で最も大きなイベントです。このイベントは、センターの恒例行事となっており、言語(言葉)、食(味)、格闘技(動き)、文化的知識(経験)、キャリア(アイデア)の各テーマに分かれて5日間続きます。アジアウィーク期間中、参加者らは、伝統的な服を着て活動に参加しながら、アジア料理を楽しんだり、格闘技で自分の強さを試したり、伝統文化や大衆文化を自ら体験することができます。







## 杉原ウィーク

1939年、当時リトアニア共和国の首都だったカウナスで、杉原千畝は日本の領事代理に任命されました。それから1940年9月までの短い間、彼は「命のビザ」を発給することで、6000人以上のユダヤ難民たちを救いました。

アジア研究センターは、2017年からパートナーたちと共に杉原ウィークを開催しています。杉原千畝を人々の記憶の中に末永く留め続け、リトアニア人、日本人そしてカウナスのユダヤ人を一つにすることを目的としています。開催中は、コンサート、シンポジウム、公開講義、展覧会、ワークショップ、など様々なイベントが行われ、約5000人ものリトアニアと日本の人々を魅了しました。その結果、最近では、カウナスは「杉原の町」「リトアニアで最も日本的な町」として知られるようになりました。



## 学生クラブ

活動的な学生団体の存在なくして、今のアジア研究センターはなかったでしょう。現在、さらに多くの熱心な学生たちがクラブに集い、様々な教育的・文化的イベントを活発に開催し、積極的に参加しています。



### 橋

2000年に創設されたVMU日本研究クラブ「橋」は日本の学生サークルを基にしており、学生だけで運営されていますが、「橋」が開催するイベントは一般公開されています。活動は日本文化に関する発表のみならず、日本からの訪問者へ、通常の観光旅行では見られないカウナスの紹介も行っています。「橋」は非営利組織として、常に新しいメンバーや新しいアイデアを受け入れています。



Eメール: [info@hashi.lt](mailto:info@hashi.lt)

Page: [hashi.vdu.lt](http://hashi.vdu.lt)

Facebookページ:

[fb.com/vduhashi](https://fb.com/vduhashi)

## Hallyu

2010年創設の「Hallyu」は、リトアニアで最初の韓国文化クラブで、国内の韓国文化ファンによって成り立っています。このクラブには、ユニークで素晴らしい韓国の文化を広めたいという強い思いがあります。リトアニア人は韓国の文化、歴史、映画、音楽に関する多く知識を、このクラブから学んでいます。また、リトアニア留学中の韓国人との交流機会を積極的に設けています。

Eメール: [hallyuclublt@gmail.com](mailto:hallyuclublt@gmail.com)

Page: [instagram.com/hallyu\\_vdu](https://www.instagram.com/hallyu_vdu)

Facebookページ:

[fb.com/hallyuclub/](https://fb.com/hallyuclub/)



## Wu Wei

2013年に誕生した中国語・中国文化のクラブ「Wu Wei」は中国文化に興味を持つ人々を結びつけ、リトアニア国内で中国に関する知識を広めることを目的としています。このクラブは講義、ゲーム、映画ナイトなどの様々な活動を行っており、古代の中国文化や現代中国の大衆文化について知ることができます。

Eメール: [wuweiklubas@gmail.com](mailto:wuweiklubas@gmail.com)

Page: [asc.vdu.lt/org/club-wu-wei](https://asc.vdu.lt/org/club-wu-wei)

Facebookページ: [fb.com/klubas-WuWei](https://fb.com/klubas-WuWei)







## 連携組織

### Global Japan Office

ヴィータウタス・マグナス大学Global Japan Office (GJO) は2017年に設置されました。東京外国語大学 (TUFS) が運営する組織で、北東ヨーロッパでは初めての、欧州全体では4つ目のオフィスとなりました。

GJOは、TUFSからの専門家が、日本語や日本研究の講義・セミナーを行うための場所です。また、TUFSとVMUが運営する共通教育プログラムや、日本語教育に関心のあるTUFSの学部生・大学院生らにインターシップやボランティアの機会を提供しています。GJOは他大学からの日本人留学生や、日本留学に興味のある現地学生に対する相談窓口のサービスも行っています。

詳細 : [asc.vdu.lt/org/global-japan-office](http://asc.vdu.lt/org/global-japan-office)



### 広島大学リトアニアセンター

広島大学リトアニアセンター (HULC) は2017年に誕生しました。ここでは広島大学からの学生や、リトアニア国内で日本に興味がある人々のために、様々なイベントを企画しています。このセンターではサマースクールや日本語弁論大会も行っています。

### カウナス世宗学堂

カウナス世宗学堂 (KSI Kaunas) は2018年に創設されました。韓国語授業の開講、韓国関連イベントの企画・運営を行う機関で、リトアニア国内の韓国ファンたちの集いの場として、カウナスのみならずリトアニア全体に韓国語や韓国文化を広めることを目指しています。世宗学堂は2005年に韓国政府により作られた機関で、カウナス世宗学堂はそのグローバルネットワークの一部です。

詳細 : [asc.vdu.lt/org/ksi-kaunas](http://asc.vdu.lt/org/ksi-kaunas)

Facebookページ : [facebook.com/KSI.Kaunas](https://facebook.com/KSI.Kaunas)



### 台湾センター

台湾センターは2013年に設置され、ヴィータウタス・マグナス大学アジア研究センターの連携組織として、学術的かつ文化的な教育活動を行っています。センターは、台湾文化や台湾社会に関する知識をリトアニア国内で広めることを目的としています。また、国外の学術機関とも協力し、台湾研究の分野での研究活動も行っています。VMUと台湾の教育機関のアカデミックな関係をより強化し、台湾の歴史、文化、社会、政治、経済などの研究資料の収集、拡大を目指しています。

詳細 : [asc.vdu.lt/org/taiwan-centre](http://asc.vdu.lt/org/taiwan-centre)



## 国際パートナー

1997年、私たちは東アジア地域で初めてのパートナーとなる関西外国語大学と交換留学の協定を結びました。2005年には、初めての韓国の大学との協定を結び、2009年には台湾と、2012年には中国と続けました。現在、VMUはおよそ50の東アジアの大学との大学間協定があります。



アジア研究の分野では、Erasmus+協定を使い、トゥルク、ストックホルム、ヘルシンキ、ブカレスト、リュブリャナ、タリン、タルトゥ、リガなどの様々な欧州の大学とも連携しています。

VMUの多くの学生は選考により、中国政府、日本の文部科学省（MEXT）、台湾などから奨学金を受けています。アジア地域の大学との交換留学は、VMU国際交流部と協力しながら進めています。



## アジア地域の協定校一覧（2020年4月現在）

### 中国

中央民族大学（2012）  
中国人民大学（2014）  
河北大学（2015）  
嶺南大学（香港）（2015）  
外交学院（2016）  
北京師範大学（2017）  
浙江万里学院（2017）  
中国政法大学（2017）  
華僑大学（2018）  
長春師範大学（2018）  
閩南師範大学（2019）  
福建農林大学（2019）  
厦門大学（2019）  
暨南大学（2019）  
ノースイースタン大学（2019）  
山東農業大学（2019）  
湖南大学（2019）

### 日本

関西外国語大学（1997）  
国際基督教大学（1998）  
早稲田大学（2001）  
中部大学（2006）  
国際教養大学（2011）  
岐阜大学（2012）  
明治大学（2012）  
大阪大学（2012）  
佐賀大学（2013）  
文京学院大学（2014）  
同志社大学（2014）  
山口大学（2015）  
昭和女子大学（2015）  
神田外語大学（2015）

福井大学（2016）  
東洋大学（2016）  
東京外国語大学（2017）  
広島大学（2017）  
上智大学（2017）  
南山大学（2017）  
群馬大学（2018）  
お茶の水女子大学（2018）  
関西学院大学（2019）

### 韓国

中央大学校（2005）  
慶熙大学校（2006）  
韓国外国語大学校（2010）  
東国大学校（2001）  
靈山大学（2010）  
崇実大学校（2010）  
江原大学校（2011）  
釜山大学校（2012）  
成均館大学校（2012）  
全南大学校（2013）  
ソウル大学校（2017）  
高麗大学校（2018）

### 台湾

ア静宜大学（2010）  
国立政治大学（2012）  
義守大学（2014）  
国立東華大学（2017）  
国立台北科技大学（2018）

千里之行, 始於足下

千里の道も一歩から

老子